



## 2024年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年11月10日

上場会社名 サスメド株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4263 URL <https://www.susmed.co.jp/>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 上野 太郎  
問合せ先責任者（役職名） 取締役（氏名） 小原 隆幸（TEL） 03-6366-7780  
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2024年6月期第1四半期の業績（2023年7月1日～2023年9月30日）

## （1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	事業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第1四半期	32	4.2	△150	—	△145	—	△146	—
2023年6月期第1四半期	31	1.8	△91	—	△91	—	△92	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第1四半期	△8.79	—
2023年6月期第1四半期	△5.72	—

（注）1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

## （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第1四半期	4,942	4,738	95.6
2023年6月期	5,101	4,870	95.3

（参考）自己資本 2024年6月期第1四半期 4,726百万円 2023年6月期 4,861百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年6月期	—	—	—	—	—
2024年6月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年6月期の業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

2024年6月期の個別業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定が困難であることから、公表しておりません。今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年6月期1Q	16,649,800株	2023年6月期	16,622,500株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年6月期1Q	一株	2023年6月期	一株
------------	----	----------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年6月期1Q	16,638,821株	2023年6月期1Q	16,249,879株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期損益計算書関係)	6
(セグメント情報等)	7
(収益認識関係)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和により経済活動の正常化に向けた動きが見られ、緩やかな回復が続きましたが、為替の変動やウクライナ情勢の長期化に伴う資源・エネルギー価格の高騰に伴う物価上昇や海外景気の下振れリスクなどにより、先行きの不透明な状況が続いております。

国内の医療用医薬品市場においては、ドラッグ・ラグや後発医薬品の供給不足で医薬品供給の土台が揺らぐ中、薬価制度の抜本的見直しも議論されています。また、ドラッグ・ラグやドラッグ・ロスの観点からは医薬品の開発に要する膨大な時間とコストが課題とされており、最先端のICT（Information and Communication Technology：情報通信技術）をはじめとしたデジタル技術の活用によって、新薬の研究や開発に必要となる期間やコストを圧縮することが期待されています。

こうした中、当社は「ICTの活用で“持続可能な医療”を目指す」というビジョンを掲げ、自社構築のデジタル医療プラットフォームを活用した治療用アプリ開発を行う「DTx（デジタル治療：Digital Therapeutics）プロダクト事業」、並びに汎用臨床試験システム、機械学習自動分析システムの提供及びこれらシステムを活用したDTx開発支援から構成される「DTxプラットフォーム事業」を展開し、ブロックチェーン技術やAI（人工知能）技術の応用で業界に新たな価値を生み出し社会課題を解決することを目指して事業を推進しています。

DTxプロダクト事業では、医薬品に依存しない不眠障害治療の選択肢として欧米で推奨されている認知行動療法を実施する不眠障害治療用アプリを開発しております。本アプリについては、2023年2月15日付で厚生労働省より医療機器製造販売承認を取得し、現在は保険適用と製品の上市に向けた準備を進めております。今後は、塩野義製薬株式会社との間で締結した本アプリに関する販売提携契約に基づき、開発進展などに応じたマイルストーン収入として総額最大41億円の受領を予定するとともに、製品上市後はその販売額に応じたロイヤリティの受領を予定しております。また、杏林製薬株式会社と共同開発を行っている耳鳴治療用アプリについては、特定臨床研究が開始されました。今後は、共同研究開発及び販売に関する契約に基づき、開発進展などに応じたマイルストーン収入として総額最大6億円の受領を予定するとともに、製品上市後はその販売額に応じたロイヤリティを受領する予定です。さらに、2023年9月にあすか製薬株式会社との間で産婦人科領域における治療用アプリの共同研究開発及び製品上市後の販売に関する契約を締結し、契約一時金として2億円、今後の開発段階などに応じたマイルストーン収入として総額最大25億円の受領を予定するとともに、製品上市後はその販売額に応じたロイヤリティを受領する予定です。その他のパイプラインにつきましても、乳がん運動療法アプリでは検証的試験の開始に向けた準備を進めており、進行がん患者向けのアドバンス・ケア・プランニングを支援するアプリ、及び、慢性腎臓病患者向けの腎臓リハビリアプリではそれぞれ探索的試験（第Ⅱ相臨床試験に相当）において被験者登録を完了するなど、開発パイプラインは順調に進展しております。今後も長期的視点での収益の最大化のために、財務指標に先行する開発パイプラインの件数や、臨床試験の進捗を重要な経営指標と位置付けて事業運営を行ってまいります。

DTxプラットフォーム事業では、当社のブロックチェーン技術を活用した治験管理システム（SUSMED SourceDataSync®）を利用し、アキュリスファーマ株式会社において、ナルコレプシー患者を対象としたヒスタミン H3 受容体拮抗薬/逆作動薬 Pitolisant の国内第Ⅲ相臨床試験、閉塞性睡眠時無呼吸症候群に伴う日中の過度の眠気が残存する患者を対象としたヒスタミン H3 受容体拮抗薬/逆作動薬 Pitolisant の国内第Ⅲ相臨床試験が開始されております。また、DTxプロダクト事業にて開始された耳鳴治療用アプリの特定臨床研究についても、SUSMED SourceDataSync®を活用しております。今後もブロックチェーン技術を用いた治験の実施により、新薬開発コストの適正化と治験データの信頼性向上を同時に実現することを目指してまいります。

アカデミア等との共同研究につきましては、当社が開発する治療用アプリやプラットフォームシステムの着実な普及のために重要な取り組みであると考えております。東北大学との間ではSUSMED SourceDataSync®を活用した静脈疾患レジストリの構築に関する基本合意書を締結しました。今後もこれまで社内で蓄積してきた知見をベースに社外の知識も取り込んで新しい価値を創り出すべく、多くの大学や研究機関との共同研究を積極的に推進してまいります。

これらの結果、当第1四半期累計期間における業績は、事業収益32,708千円（前年同四半期は31,392千円）、営業損失150,444千円（前年同四半期は91,787千円の損失）、経常損失145,014千円（前年同四半期は91,591千円の損失）、四半期純損失146,212千円（前年同四半期は92,991千円の損失）となりました。

なお、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）に採択された研究事業の精算金額確定などによる「助成金等収入」5,163千円を営業外収益に計上しております。

事業別の概況は、以下のとおりです。

(DTxプロダクト事業)

当セグメントは、治療用アプリ開発で構成されております。治療用アプリ開発では、不眠障害治療用アプリにおいて、保険適用と製品の上市に向けた準備を進めております。また、杏林製薬株式会社と共同研究開発を行っている耳鳴治療用アプリについて、特定臨床研究を開始いたしました。その他のパイプラインにつきましても、進行が患者向けのアドバンス・ケア・プランニングを支援するアプリ、及び、慢性腎臓病患者向けの腎臓リハビリアプリではそれぞれ探索的試験（第Ⅱ相臨床試験に相当）において被験者登録を完了しております。加えて、複数の医療機関と共同研究を行い、次のパイプラインの獲得を目指しております。販売段階にあるプロダクトはまだありません。

この結果、本報告セグメントの当第1四半期累計期間の事業収益の計上はなく（前年同四半期もなし）、セグメント損失は37,322千円（前年同四半期は19,858千円の損失）となりました。

(DTxプラットフォーム事業)

当セグメントは、汎用臨床試験システム及び機械学習自動分析システムの提供、並びにこれらシステムを活用したDTx開発の支援で構成されております。汎用臨床試験システムの提供に関しては、アキュリスファーマ株式会社との間で締結した、治験実施に関する契約に基づき、企業治験としては世界初となるブロックチェーン技術を活用した治験の実施を進めております。さらに、耳鳴治療用アプリの特定臨床研究においても、SUSMED SourceDataSync®を活用しております。機械学習自動分析システムの提供及びDTx開発の支援に関する活動につきましては、前期からの継続利用に支えられ、収益は安定的に推移しております。

この結果、本報告セグメントの当第1四半期累計期間の事業収益は32,708千円（前年同四半期は31,392千円）、セグメント損失は4,518千円（前年同四半期は22,324千円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は、4,942,580千円となり、前事業年度末に比べ158,544千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が158,562千円及び前払費用が2,996千円減少、未収消費税等が2,204千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債合計は、198,646千円となり、前事業年度末に比べ26,030千円減少いたしました。これは主に未払金が9,042千円増加した一方、未払消費税等が27,759千円、契約負債が4,135千円減少したこと等によるものであります。

当第1四半期会計期間末における固定負債合計は、5,650千円となり、前事業年度末からの変動はありませんでした。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は4,738,283千円となり、前事業年度末に比べ132,513千円減少いたしました。これはストック・オプションの行使により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ5,637千円増加したほか、新株予約権が2,423千円増加した一方、四半期純損失の計上に伴い利益剰余金が146,212千円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の業績予想につきましては、2023年2月15日付で厚生労働省より医療機器製造販売承認を取得した不眠障害治療用アプリについて、保険適用と製品の上市に向けた準備を進めており、現時点で本アプリの収益を合理的に算定することが困難であることから開示しないことといたしました。今後、保険点数が確定し業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,048,838	4,890,275
売掛金及び契約資産	10,917	11,975
前払費用	25,382	22,386
未収消費税等	-	2,204
その他	321	5
流動資産合計	5,085,460	4,926,847
固定資産		
有形固定資産	0	0
無形固定資産	7,602	7,858
投資その他の資産	8,062	7,875
固定資産合計	15,664	15,733
資産合計	5,101,124	4,942,580
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	53,350	62,393
未払費用	1,266	2,200
未払法人税等	1,210	302
未払消費税等	27,759	-
預り金	5,897	6,816
契約負債	126,543	122,407
その他	8,649	4,526
流動負債合計	224,677	198,646
固定負債		
資産除去債務	5,650	5,650
固定負債合計	5,650	5,650
負債合計	230,327	204,296
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	40,951	46,588
資本剰余金	5,383,193	5,388,831
利益剰余金	△562,607	△708,819
株主資本合計	4,861,537	4,726,600
新株予約権	9,260	11,683
純資産合計	4,870,797	4,738,283
負債純資産合計	5,101,124	4,942,580

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
事業収益	31,392	32,708
事業費用		
事業原価	1,212	2,182
研究開発費	25,637	58,311
販売費及び一般管理費	96,329	122,658
事業費用合計	123,180	183,153
営業損失(△)	△91,787	△150,444
営業外収益		
受取利息	1	-
助成金等収入	-	5,163
講演料等収入	336	250
その他	5	159
営業外収益合計	342	5,573
営業外費用		
株式交付費	144	142
その他	2	-
営業外費用合計	146	142
経常損失(△)	△91,591	△145,014
特別損失		
減損損失	1,097	895
特別損失合計	1,097	895
税引前四半期純損失(△)	△92,688	△145,909
法人税、住民税及び事業税	302	302
法人税等合計	302	302
四半期純損失(△)	△92,991	△146,212

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書関係)

(減損損失)

当社は以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

(1) 資産のグルーピング方法

事業用資産においては管理会計上の区分を基準に、本社等に関しては全社資産として、グルーピングを行っております。

(2) 減損損失を認識した資産グループの概要

前第1四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)

場所	用途	種類
本社	全社資産	工具器具備品

当第1四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

場所	用途	種類
本社	全社資産	工具器具備品

(3) 減損損失の認識に至った経緯

当社は営業キャッシュ・フローが継続してマイナスとなり、割引前将来キャッシュ・フローの総額が帳簿価額を下回ることが見込まれるため、全社資産について減損損失を認識しております。

(4) 主な固定資産の種類ごとの減損損失の金額

前第1四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)

(単位：千円)

種類	金額
工具器具備品	1,097

当第1四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

(単位：千円)

種類	金額
工具器具備品	895

(5) 回収可能価額の算定方法

回収可能価額は使用価値により算定しておりますが、将来キャッシュ・フローがマイナスであるため、備忘価額をもって評価しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの事業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期損益計 算書計上額 (注2)
	DTxプロダクト 事業	DTxプラット フォーム事業			
事業収益					
外部顧客への事業収益	—	31,392	31,392	—	31,392
セグメント間の内部事業収 益又は振替高	—	—	—	—	—
計	—	31,392	31,392	—	31,392
セグメント利益又は損失(△)	△19,858	22,324	2,466	△94,253	△91,787

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当社は営業キャッシュ・フローが継続してマイナスとなり、割引前将来キャッシュ・フローの総額が帳簿価格を下回ることが見込まれるため、セグメントに配分していない全社資産について、帳簿価格を回収可能価格まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、前第1四半期会計期間においては1,097千円であります。

当第1四半期累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの事業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期損益計 算書計上額 (注2)
	DTxプロダクト 事業	DTxプラット フォーム事業			
事業収益					
外部顧客への事業収益	—	32,708	32,708	—	32,708
セグメント間の内部事業収 益又は振替高	—	—	—	—	—
計	—	32,708	32,708	—	32,708
セグメント損失(△)	△37,322	△4,518	△41,841	△108,603	△150,444

(注)1. セグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当社は営業キャッシュ・フローが継続してマイナスとなり、割引前将来キャッシュ・フローの総額が帳簿価格を下回ることが見込まれるため、セグメントに配分していない全社資産について、帳簿価格を回収可能価格まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期会計期間においては895千円であります。

(収益認識関係)

当社の事業収益は、顧客との契約から生じる収益であり、当社の報告セグメントを収益の認識時期に分解した場合の内訳は、以下のとおりであります。

前第1四半期累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	DTxプロダクト事業	DTxプラットフォーム事業	
財又はサービスの移転の時期			
一時点で移転する財又はサービス	—	19,017	19,017
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	—	12,375	12,375
顧客との契約から生じる収益	—	31,392	31,392

当第1四半期累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	DTxプロダクト事業	DTxプラットフォーム事業	
財又はサービスの移転の時期			
一時点で移転する財又はサービス	—	20,378	20,378
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	—	12,329	12,329
顧客との契約から生じる収益	—	32,708	32,708

(重要な後発事象)

(マイルストーン収入)

当社は2023年11月2日付で、杏林製薬株式会社との間で締結している耳鳴治療用アプリの共同研究開発及び販売に関する契約に基づき、開発マイルストーンを達成しました。

本マイルストンの達成は、本アプリの探索的試験において最初の被験者により本アプリの使用が開始されたことによるものであります。これにより、当社は本契約で定められた開発マイルストーン収入100,000千円を受領する予定です。

本マイルストンの達成に伴い受領するマイルストーン収入は、本契約締結時に受領し契約負債に計上しておりました契約一時金100,000千円と併せて2024年6月期第2四半期の事業収益として計上する予定です。